

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

平成 28年4月7日

(宛先) 狭山市長

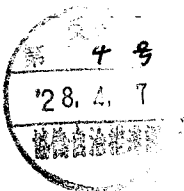
団体名 狭山ふるさと会

所在地

代表者名 島田 公江

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	<input checked="" type="checkbox"/> 市民提案型協働事業 <input type="checkbox"/> 行政提案型協働事業
2 事業名	狭山ふるさと醸成事業
3 事業期間	平成28年6月1日から平成29年2月28日
4 事業種別	<input type="checkbox"/> 単年度事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	223,000円 (補助金申請額136,000円)
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	一連の狭山ふるさと醸成事業のうち、2年度目は ①狭山ふるさと〇Xクイズの実施 ②狭山ふるさとミニガイドブック(解説書)の作成 ③狭山ふるさとガイドブック原稿の作成  中長期的目標は狭山ふるさと検定の創設です。
7 添付書類	<input type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 狭山ふるさと会

1 事業名	狭山ふるさと醸成事業
2 事業の詳細	<p>人口減少の傾向を止めるには、子どもや若者達が狭山をふるさとと想う気持ちを醸成することが必要であるとの発想から企画しました。(別紙参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「狭山ふるさとミニガイドブック(解説書)2」の作成</li> <li>・「狭山ふるさとOXクイズ」の実施</li> </ul> <p>上記2点は、昨年度の方法を改善します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山ふるさとガイドブック原稿作成</li> </ul> <p>中長期的には狭山ふるさと検定の参考書です。</p>
3 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭山ふるさとOXクイズの体制 市民交流センターの後援 実働部隊(10名以上)は狭山ふるさと会が担当</li> <li>・狭山ふるさとミニガイドブックは狭山ふるさと会が担当</li> <li>・狭山ふるさとガイドブックは狭山ふるさと会が担当</li> </ul>
4 役割分担	<p>【提案団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副読本「さやま」を素材にミニガイドブックを作成</li> <li>・スタッフ(司会、安全担当、など)を担当</li> <li>・垂れ看板や小物、表彰や副賞を手配</li> </ul>
	<p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場提供と会場における諸設備の利用をお願いします</li> <li>・参加者募集に係る広報支援をお願いします。</li> <li>・ガイドブック原稿作成のための資料の提供。</li> <li>・狭山ふるさと検定創設に向けた支援。</li> </ul>
5 協働の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼性が高まることを期待しています。</li> </ul> <p>狭山ふるさと検定には強力なスポンサーが必要です。強靱な組織化に向けた働きかけのために。</p>
6 事業のアピールポイント	<p>狭山市でも人口減少、少子高齢化が課題であり、解決策として子供達や親世代が狭山をふるさとと想い、将来生活拠点としたくなる気持ちを醸成することが肝要と考えています。</p> <p>三段跳びのホップが「狭山ふるさとOXクイズ」です。ステップ「狭山ふるさとガイドブック」、ジャンプ「狭山ふるさと検定」へと発展させたいと考えています。</p>